



つめ替えインク 取扱説明書

■対応インクカートリッジ

ブラザー

LC09BK・LC09C
LC09M・LC09Y



発売元

株式会社 **北村製作所**

〒9240802 石川県白山市専福寺町 96-1
TEL.(076)276-3111 FAX.(076)276-1529
http://www.kitamuramfg.com
E mail:ink@kitamuraimg.com

安全上の注意

- 次の注意事項は、つめ替え時の危害や損傷を未然に防ぎ、つめ替えインクセットを正しく安全にお使いいただくためのものです。
- 子供の手の届く所に置かないでください。
 - 本製品のインクは身体や衣類に付着するとすぐには消えません。ご使用に際しては注入する時の他は不用意にインクボトルを強く握ったり逆さまに持ったりしないようにしてください。
 - 飲むことはできません。誤って飲んでしまった場合には、医師の診断を受けてください。
 - 目に入ってしまった場合には、すぐに水で洗い流してください。
 - インクボトルのノズルの先からインクが飛び出したり、こぼれ落ちたりして、身体や衣類に付着しないように注意してください。
 - ポケットドリルは金属製です。使用の際にはご使用者本人及び周囲へのケガ、事故など身体の安全に注意してください。使用後はパッケージ(箱)に入れ、小児・幼児の手の届かないところで保管してください。また、インクのつめ替え専用にお使いいただくための用具であり本用途以外の目的にはお使いにならないでください。

注意

- つめ替える時にインクがこぼれ、周辺が汚れることがあります。つめ替えは新聞紙などを敷いて、その上で行ってください。ティッシュペーパーもしくはペーパータオルなどをあらかじめご用意下さい。
- インクは開封後1年以内にご使用ください。
- 本製品のインクは当社オリジナルインクを使用しています。
- 万一当社の製品上の原因による品質不良がありました場合には、同数の新しい製品と取り替えいたします。それ以外の責はご容赦願います。
- 記載されている会社名・商品名は、一般には各社の商標または登録商標です。
- 改良のため予告なく外観、仕様を変更する場合があります。
- 本製品はブラザー株式会社とは無関係で承認を受けたものではありません。

保管

つめ替えした後の残ったインクはゴムキャップをしっかりと、直射日光の当たるところ及び、高温多湿の場所は避け、涼しい所で保管してください。インクの漏れを防ぐために容器は立てて保管してください。

インク成分

- ・ブラック(顔料)・・・[蒸留水]50%～60%・[溶剤(グリコール)]20%～30%・[その他顔料など]2%～10%
- ・シアン・・・[蒸留水]70%～80%・[溶剤(グリコール・イソプロピルアルコールなど)]1%～10%・[染料]1%～15%
- ・マゼンタ・・・[蒸留水]60%～70%・[溶剤(グリコール・イソプロピルアルコールなど)]1%～15%・[染料]15%～25%
- ・イエロー・・・[蒸留水]70%～80%・[溶剤(グリコール・イソプロピルアルコールなど)]1%～10%・[染料]1%～15%



ご使用の前に注意事項と説明内容を必ずお読みになって下さい。
インクは身体及び着衣につくとすぐには消えません。取り扱いに注意して下さい。
インクカートリッジの種類により適応するインクが異なります。対応インクをご確認のうえ、ご使用下さい。

セット内容

①インクボトル 4本

ブラック・シアン・マゼンタ・イエロー 各色 60ml×1本



インク面の高さについて
ボトルのインク面の高さに差がある場合があります。これはボトルの内容積の差によるもので、インクの量は表示の量が充填されています。

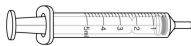
②ポケットドリル 1本



③プラグ 5個



注入器 1本



ポリ手袋 1組

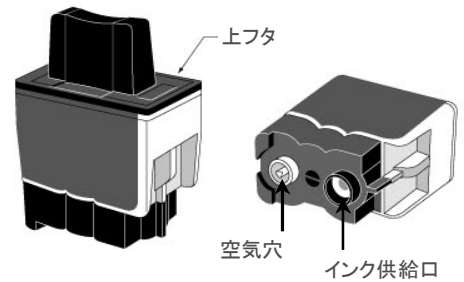


⑥取扱説明書 (ダウンロード版)

お使いになるお客様へ

- 本製品のインクは当社オリジナルインクを使用しております。純正インクと同じように黒インクは顔料系インク、カラーインクは染料系インクで構成されております。同等の印刷となるよう調整されていますが、色合いの差異が生じる場合があります。
- 純正インクカートリッジに対応したつめ替え用製品です。再生カートリッジ、互換カートリッジ、他社つめ替えインクと併用などには使用できません。
- インクは開封後1年以内に使い切ってください。本製品はブラザー株式会社とは無関係で承認を受けたものではありません。

●インクカートリッジ 各部の名称



トラブルシューティング

クリーニングの繰り返しはつめ替えたインクや他のインクの消費を早め、通常動作に戻るまで時間がかかってしまいますので、下記のトラブルシューティングを参照してください。

- 以下の状態のインクカートリッジでつめ替えをした場合はサポート対象外となりますので、お確かめの上お使いください。

純正新品使用後のカートリッジ以外のカートリッジには対応していません。
(再生品カートリッジ、互換品カートリッジ、他社つめ替えインクと併用など)

つめ替え回数が取扱説明書に記載の推奨限度回数を超えて不具合となったカートリッジ。

他社のつめ替えインクや道具を使用した後のカートリッジ。

インクがなくなって長い間放置(使用しない)されていて、つめ替え不能なカートリッジ。

ご質問、問い合わせなどは上記の弊社までご連絡下さい。

	症状	確認事項	処置
つめ替え作業中	注入中に注入口からインクがあふれ出てくる	入れ方が強すぎませんでしたか。 インクの入れ過ぎの可能性あります。	インクの注入は静かにゆっくりと行って下さい。強く急な注入は勢いで注入口からあふれ出て来やすくなります。インクの注入量は(手順3)を参照して、標準量を参考にして終了して下さい。入れ過ぎはインク供給にも影響があり、印字不良になりやすくなります。
	注入中にカートリッジのインク供給口からインクが漏れてくる	注入口をふさいでいませんか。	ノズルを差し込みすぎて注入口をふさいだ状態では、インクが入った分の空気が抜けられないためノズルから漏れてきます。注入中は注入口とノズルの間にすき間をとってください。(手順 ②参照)
	手順 の内部調整でインクが出ていない	注入器先端の差し込み方が足りないのであれば。 注入器先端の差し込み後の傾け方が足りないのであれば。	注入器先端の差し込み方を多くして、再度やり直して下さい。 注入器先端を差し込んで傾け、その状態を保持したままでピストンを引いて下さい。
印刷の時	印刷ができない、またはかすれやスジが入る(下記※1)	カートリッジのインク供給口の空気が残っている可能性があります。	カートリッジを取り出し、手順 の内部調整を再度行って下さい。
		カートリッジからヘッドへの間のチューブに空気泡が出来て、インクが流れていない可能性があります。	カートリッジを本体に取り付けたままで、カートリッジの注入口に差し込んだプラグを一旦抜いてクリーニングをして下さい。プラグを抜くとカートリッジの内圧が解放され、クリーニング時にインクの流れが空気泡を解消しやすくなります。
		長期間使用していない。または、外してあったカートリッジではありませんか	長期間使用していないカートリッジはインクが流れないので、印刷しない可能性があります。つめ替える前に必ず印字できるか確認してください。
		他社のインクと併用していませんか	純正互換インクなので、併用した場合インクのかすれや出なくなるおそれがあります。
		つめ替え回数を確認してください	つめ替え回数が多くなると(3-4回までが目安)インクの流れに支障が生じ、印字の状態が悪くなりやすくなります。新しいカートリッジへの交換をお勧めします。

(※1)改善しないままクリーニングを繰り返すことはしないで下さい。つめ替えたインクや他のインクの消費を早め、通常動作に戻るまで時間がかかってしまいます。

つめ替えのタイミング

つめ替えはモニターに「インク コウカンシテクダサイ」のインクエンド表示が出たら行って下さい。他の色でインク残量が(少)「インク ノコリスコシ」の出ているカートリッジがあったら、同時につめ替えて下さい。

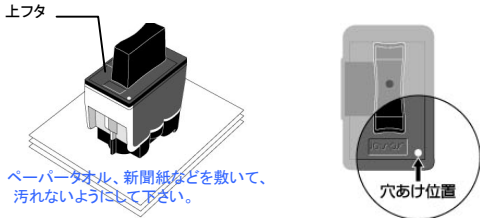


インクは肌や着衣につくとすぐには消えません。手や着衣及び机などにインクがつかないように、付属の手袋を着用し、エプロンなどを準備していただき汚れ防止をして下さい。ポケットドリルは金属製です。ケガなどに注意して下さい。

つめ替えの手順 (つめ替えの前に、一度必ず全部お読み下さい。)

1 カートリッジにインク注入口をあける...① ②

① プリンタから取り外したインクカートリッジをペーパータオルなどの上に置き、下図の「穴あけ位置」と示す上フタの場所にドリルで穴をあけます。



長期間使用していなかったカートリッジは、正常に印刷できるか確認してからつめ替えて下さい。正常でないカートリッジをつめ替えても印字不良となります。

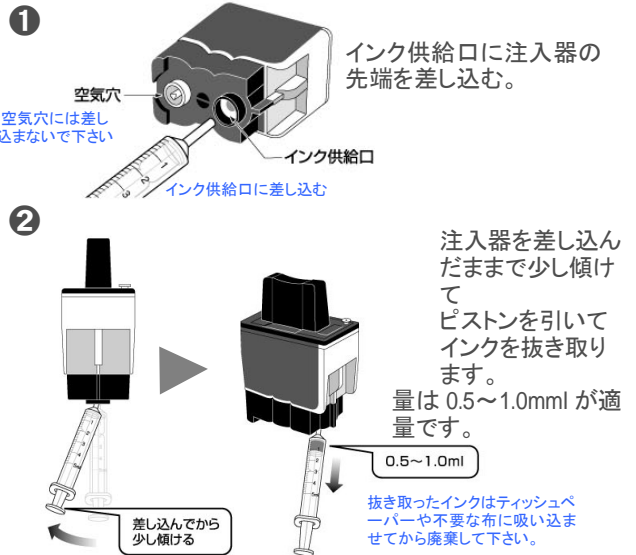
② 穴あけ位置にポケットドリルの先端を合わせ、時計方向にはじめは強い力で押し回し、穴が半分ほどあいたら力を弱めゆっくりと回し穴をあけて下さい。

★上フタは硬いので しっかり開けてください。

時計方向に回しながら始めは強い力で押し回し、穴が半分程あきましたら力を弱めゆっくりと回して下さい。

3 カートリッジの内部調整(インクの引き出し)をする...① ②

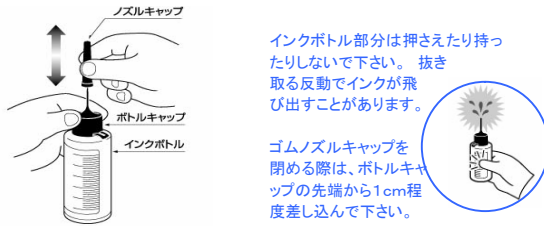
インクカートリッジのインク供給口の内部には空気が気泡となって残っています。内部のインクを少量抜くことにより、この気泡も除かれます。



つめ替え作業 終了
カートリッジの内部調整でインクを引き出したら作業は終了です。プリンタに取り付けてカートリッジ交換確認とクリーニングと印字テストを行って下さい。

2 インクを注入する.....① ② ③

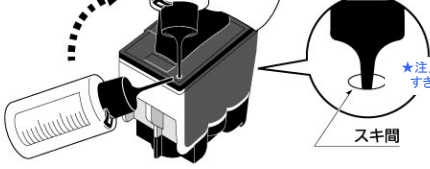
① 手袋を着用して、ノズルキャップを外します。ボトルキャップをしっかりと持ってノズルキャップを垂直方向に抜き取って下さい。



インクボトル部分は押さえたり持ち取りなで下さい。抜き取る反動でインクが飛び出すことがあります。

ゴムノズルキャップを開ける際は、ボトルキャップの先端から1cm程度差し込んで下さい。

② インクボトルのノズル先を水平より上にして持って、注入口にノズルの先端を合わせます。②そのままインクボトルが垂直になるように起こして、ノズルを注入口に差し込みます。③ボトルをゆっくり絞りながらインクを注入します。

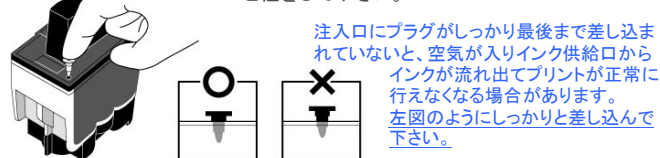


インク注入量の目安

ブラックカートリッジの場合	約 20ml
カラーカートリッジの場合	約 15ml

★注入量はインクエンドで使い終わったときの推定量です。残量により変わりますので、入れ過ぎないように注意して下さい。

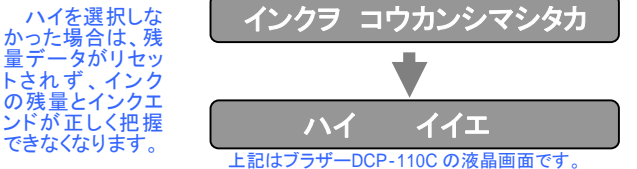
③ 注入口からこぼれたインクをふき取り、付属のプラグを注入口に差し込み、しっかりと栓をして下さい。



インクのふき取りには使用する布やペーパータオルなどを水で湿らせると、きれいにふき取れて効果があります。

4 カートリッジの動作確認

カートリッジをプリンタに取り付けて、その後操作パネルの液晶ディスプレイにイラストのような確認メッセージが表示された場合は、「ハイ」を選択して下さい。



ハイを選択しなかった場合は、残量データがリセットされず、インクの残量とインクエンドが正しく把握できなくなります。

上記はブラザーDCP-110Cの液晶画面です。

5 クリーニングと印字テスト

カートリッジをプリンタに取り付けて最初にクリーニングを1回行い、ノズルチェックパターン印刷かテスト印刷をして下さい。プリント状態が良くない場合は、もう一度クリーニングとテスト印刷をして下さい。クリーニングとノズルチェックパターン印刷の方法はプリンタの取扱説明書を参照して下さい。

★クリーニングの繰り返しはインクの浪費となり、カートリッジの寿命も短くなります。3回までのクリーニングで正常に印刷されない場合は、トラブルシューティングを参照して下さい。

2回目のつめ替えからは

プラグを抜き取り、②~④の手順で再度つめ替えて下さい。外したプラグは再度使いますのでつめ替え中は保管して下さい。

推奨つめ替え限度回数

つめ替えによるインクカートリッジの再使用は3~4回までが適切な限度です。それ以上はカートリッジが消耗し正常な印刷ができない場合がありますので、いったん新しいカートリッジに交換することをお勧めします。

つめ替えが終わったら

- インクボトルはキャップをしっかりと閉めて直射日光の当たらない常温の場所で、立てて保管して下さい。
- 注入器は付着しているインクを水で洗い流し、水分をふき取ってからパッケージに入れて保管して下さい。